

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	教育学部
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1)研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育学部は完成年度までは、認可申請を行った学部の教育研究組織を履行していくことになるが、2013年度からの学部再編に向けて、学部再編計画の即した教育研究組織の具体的な検討を行う。	→「将来ビジョン委員会の開催回数と進捗状況」	B	A	A	A	A
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 学部長室によって設置の認められた将来構想委員会にて、教職課程・保育士養成の中長期的課題の整理を行い、近年の政策動向を鑑みながら今後の学部教育組織の検証を行う必要性を確認した。また、教育学部の人材養成の方向性について、①大学全体で取り組むグローバル人材の観点からのカリキュラムの再検討、②学生の教員志望の実態調査、についての検討の計画を行った。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 将来構想委員会だけでなく教授会全体が共通の課題認識をもつ必要があると考えられたため、FDを開催し、近年の政策動向を踏まえ、今後の学部教員組織の検証の必要性、教育学部として育成する人材をより明確化したカリキュラムの再検討の必要性を確認した。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か FDで教授会全体での検討・共通認識をまとめ、将来構想委員会に具体的な問題や課題を上げるとともに、教務委員会とも連携を取りながら、方向性を決定する。この方向性に基づき、再びFDを行い、教授会全体で具体的な改善を検討する。それぞれの開催頻度を増やし、より有機的にスムーズな改善を目指す。	☆
		その他	☆
備考			☆